



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年6月29日生まれ
- 出身地 松戸市常盤平
- 学歴
 - 昭和55年 常盤平第1小学校 卒業
 - 昭和58年 青山学院中等部 卒業
 - 昭和61年 青山学院高等部 卒業
 - 平成 2年 青山学院大学 経営学部経営学科 卒業

- 主な議会経歴
 - 松戸市議会議員 5期目
 - 松戸市監査委員
 - 教育環境常任委員長
 - 都市整備常任委員長
 - 予算審査特別副委員長
 - 決算審査特別副委員長 など

- その他の主な経歴
 - 中央学院大学 法学部 非常勤講師
 - 松戸市子ども会常盤平地区 会長
 - 松戸市立常盤平中学校PTA会長
 - 松戸青年会議所 常任理事

松戸市議会3月議会が閉会 予算は過去最大1949億円

松戸市議会3月定例会が2月21日から3月25日の会期で行われました。最終日には、令和7年度の一般会計予算案をはじめとして各会計予算が採決され、すべて賛成多数をもって可決承認となりました。

松戸市は現在、3つの会計区分によって予算執行を行っています。それは〇一般会計、〇企業会計、〇特別会計、に分けられています。私たち市民の生活に最も身近で親しみのあるものが一般会計と呼ばれるものです。道路を直す、公園を整備する、福祉関係をまかなうなど、生活全般にたいして幅広く関連している内容となっています。

その一般会計の予算が1,949億円で可決されています。これは過去最大の規模の数字です。市民の皆さんのなかには、「なぜ景気が悪くなっている一方なのに予算額が増えるんだ？」と不思議に思う方もいるでしょう。過去数年は、新型コロナウイルス対策として、国からの多額の交付金や額補金もたらされたおかげで、歳入確保ができました。

しかし、来年度の予算額が過去最大規模となった要因には、ひとつとして市税の伸びが意外にも大きかったことがあげられます。コロナによる不景気が是正され、所得増につながったと考えられます。

しかし、予算規模の増大が、イコール市財政が健全であるとは言い切れません。依然として地方交付税交付金や国や県からの補助、さらには臨時財政対策債などの借金に頼らなければならない点で、歳出の引き締めをより強化しなければならないことが浮き彫りになっています。



加えて、今議会において市は、松戸市総合医療センターの敷地内に予定していた別棟の建設を延期することを公表しました。このことにより、病院会計はさらに効率性が求められていくでしょう。また、水道料金の値上げもせざるを得ない状況であることなどを踏まえると、市当局にはムダを省き、より効率的な行政運営を心がける必要があります。